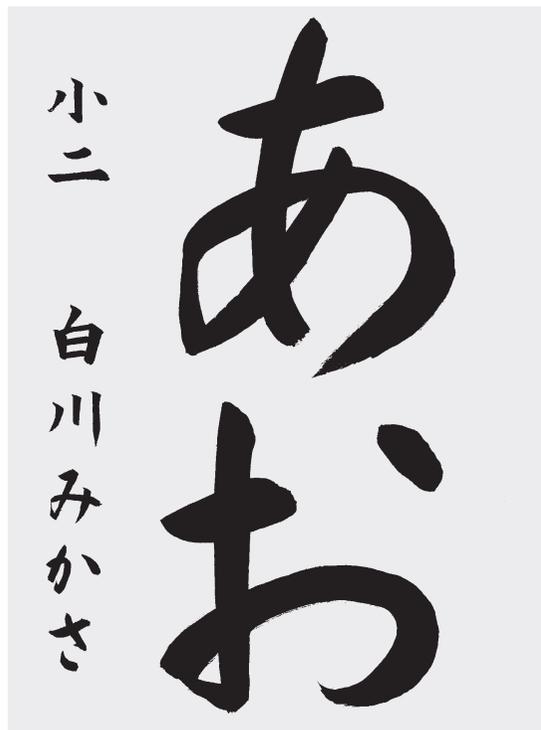


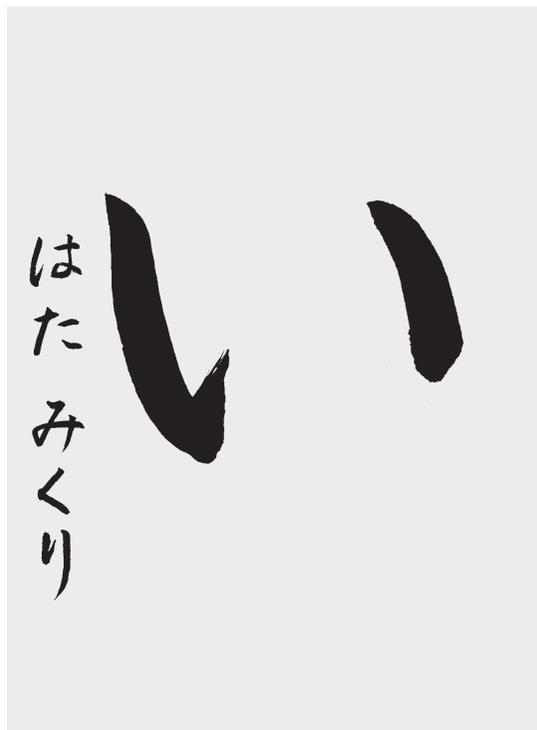
〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



広瀬舟雲先生

幼・小学1年参考手本



稲垣小燕先生



川島舟錦先生



佐藤菜扇先生

〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



川村美泉先生

小学3年参考手本



崎井恵風先生



小林琴水先生



武山櫻子先生

〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

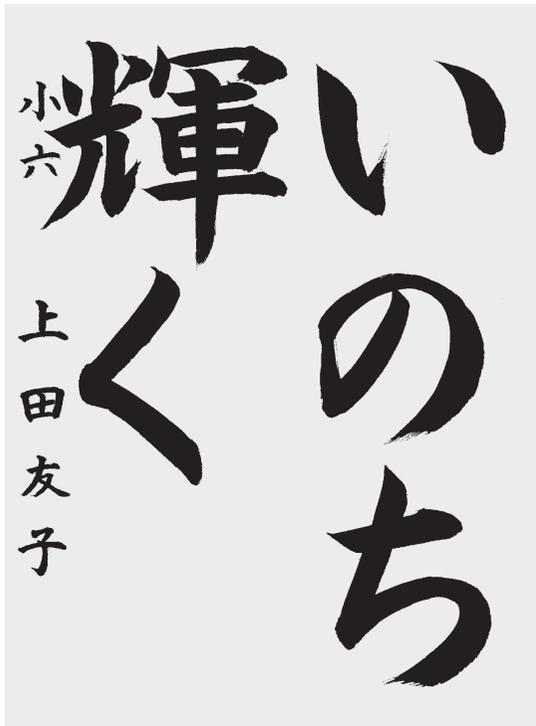


名越蒼竹先生

小学5年参考手本



岩垣若翠先生



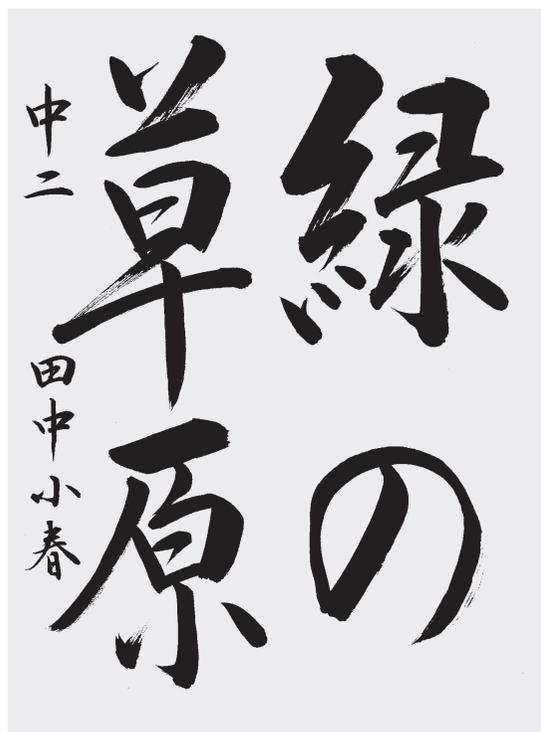
小竹石雲先生



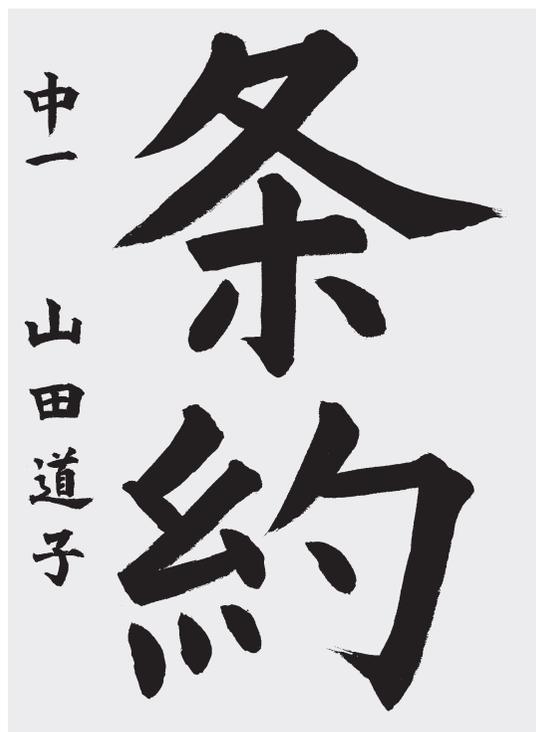
大町青蓮先生

〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

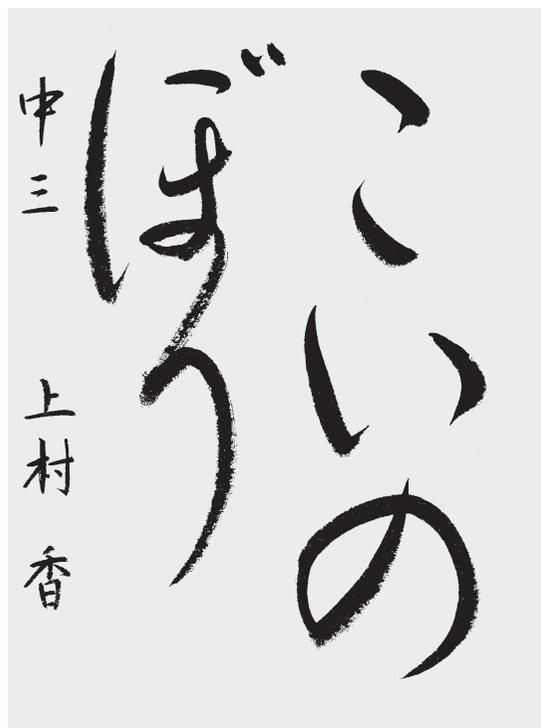
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



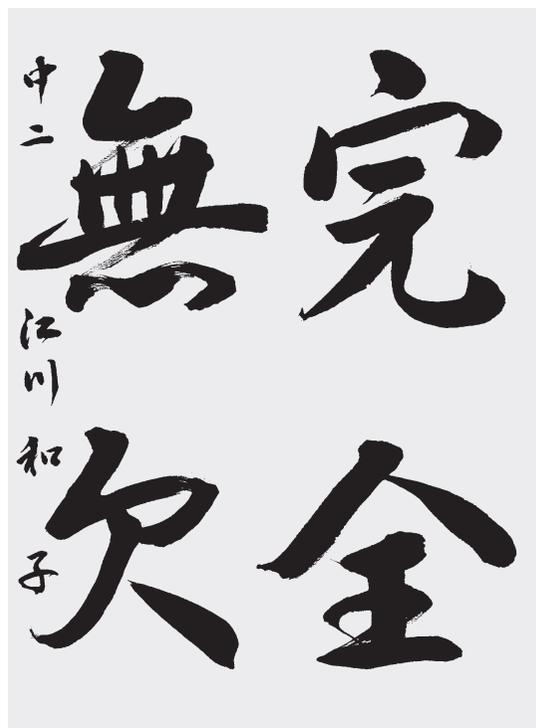
種谷萬城先生



半田藤扇先生



下谷洋子先生

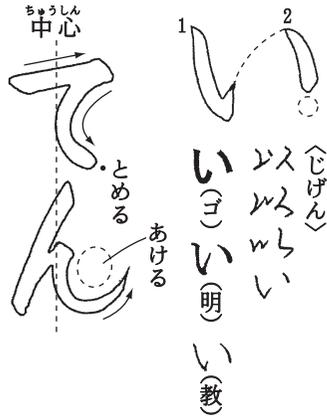


辻元大雲先生

# 毛筆参考手本解説(1)

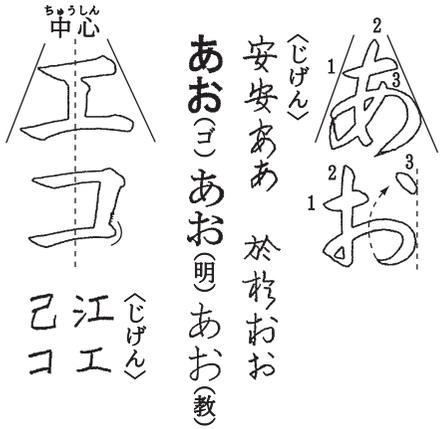
活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。  
ゴシック体(ヨ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

1年



〈七げん〉  
天天てん 无ええん  
てん(ヨ)てん(明)てん(教)

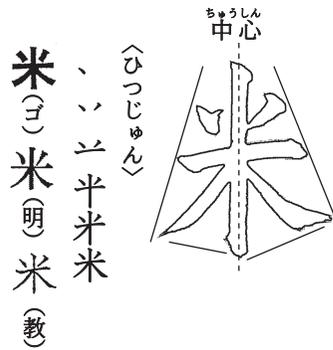
2年



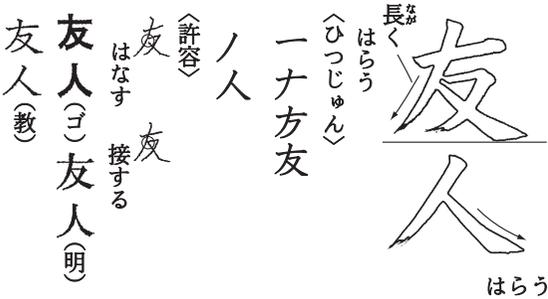
〈七げん〉  
安安ああ 於於おお  
あお(ヨ)あお(明)あお(教)

エコ(ヨ)エコ(明)エコ(教)

3年



〈ひつじゅん〉  
米(ヨ)米(明)米(教)



4年



〈筆順〉

白(ヨ)白(明)白(教)  
白馬(ヨ)白馬(明)白馬(教)



〈筆順〉

作(ヨ)作(明)作(教)  
作文(ヨ)作文(明)作文(教)

5年



〈筆順〉

金(ヨ)金(明)金(教)  
金銀(ヨ)金銀(明)金銀(教)



〈筆順〉

竹(ヨ)竹(明)竹(教)  
竹笛(ヨ)竹笛(明)竹笛(教)

毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

中心  
新緑

〈筆順〉

一、ウ、立、糸、新、新

糸、糸、糸、糸、糸、糸、糸、糸

新緑(ヨ) 新緑(明)

新緑(教)

横画は等間かくに

いのち 輝く

右上にはねる

〈筆順〉

一、業、光、輝

〈字源〉

以、以、以、以

乃、乃、乃、乃

知、知、知、知

久、久、久、久

※手本は許容で書いています

条約

短くはらう

〈許容〉

文、止め

糸、止め

条約(明)

条約(教)

点画の連続

完全 無欠

筆順の変化と点の省略

〈筆順〉

一、ハ、ハ、ハ、ハ、完

ノ、ハ、ハ、ハ、全

ハ、ハ、無、無、無

ノ、ハ、ケ、欠

徐々に内側に向かう

形の変化

草原の

(糸へん)

草かんむり

1、2、3

つながる気持ちで

突き返す

ぼり

連続

ひらがなの字源 (414)

「国語科書写の理論と実践」  
全国大学書写書道教育学会編より転載

り	ほ	の	い	こ	字源	字形
利	保	乃	以	己		
あり	ほ	の	い	こ		

※字源については、異字体から変遷したものに\*印を付して()にその字体を記した。  
※字形は古筆から抽出した。上段には字源に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。







〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

支部名	最短ルートであった。 こころは、アンカレッジ経由の北回りが ヨーロッパへ行く直行便がなかった
段・級	
学年	
中二	
名前	
山形 麻子	

支部名	最短ルートであった。 こころは、アンカレッジ経由の北回りが ヨーロッパへ行く直行便がなかった
段・級	
学年	
中二	
名前	
山形 麻子	

漢字、ひらがな、カタカナをつりあいよく書きましよう。

日は扁平に

中心 最  
はなす  
筆順

〈許容〉

日 耳 又 又 最 最  
はなす はなす 止め 最 短 短  
接する 最 短 教

中心 短  
筆順  
矢 知 知 短 短

・行書のワンポイントアドバイス

行書の特徴のひとつとして終筆の変化があります。楷書の「はらい」の部分が「へ」とめて次へつながるようになる場合があります。

便 経 最

便 経 最  
日

# これからの作品締切日と課題

令和8年6月号～9月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
松原三保の	新風	労働	風景	学校	小川	みらい	た	6月8日	6月
しみず	品行方正	風立ちぬ	早起き	ローマ字	子ねこ	メモ	かわ		
願いに	答案	祭典	一直線	元気	ペン	のぞみ	あ	7月5日	7月
くもの	用意周到	記録達成	登山	自由	大きい	はい	いま		
次代を担う	自在	未来社会	山の日	実行	力もち	こおり	そ	8月3日	8月
<small>荒海や佐渡に横たふ天の川</small>	粉骨碎身	道路	湖水	魚つり	石だん	へちま	もの		
夕映えの富士	名月	正倉院	開始	林道	田んぼ	ひろば	る	9月7日	9月
もみじがり	前代未聞	祝日	国民の飛ぶ	金メダル	秋	ねがい	つき		

6月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

ざ	
い	あ
ま	り
し	が
た	と
	う
	ご

小 2

と	き
て	よ
も	う
ま	は
き	、
れ	青
い	空
で	が
す	

小 3

行	道
列	ば
を	た
見	で
つ	、
つ	あ
け	り
た	の

小 4

を	こ	わ
て	ん	か
ら	だ	葉
し	光	の
て	が	間
い	、	か
ま	す	ら
す	の	さ
	水	し
	面	

小 5

げ	ま	友
て	る	達
発	と	は
言	、	、
し	元	学
ま	気	級
し	に	会
た	手	が
	を	始
	挙	

小 6

け	切	古
つ	な	典
が	心	芸
れ	の	能
て	財	は
い	産	人
く	と	々
	し	の
	て	大
	受	

中学生

生	宮
き	沢
方	賢
が	治
で	が
き	追
る	い
社	求
会	め
だ	た
	理
	想
	。

# 書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

## 第110回 毎日新聞「教えて！広瀬先生」

私が大学を卒業した際の頃、恩師の小木太法教授の研究室を訪問したとき、「毎日新聞に連載することが決まった。」というお話をとてもうれしそうにしてくださいました。たしか週一回ずつのことで大変なことだと思ったが、先生は論文だけではなく、随筆など分かりやすい文章で執筆されることも得意なので、すごいなあと思いました。最初に「筆とエンピツ」という随筆を、次に、「続・筆とエンピツ」、その次に「続続・筆とエンピツ」というように本にまとめ、新聞に連載したこと全部を再び出版される意気込みでおられたので、次の4冊目の題名は「続続続」か？それとも「三続」か？と題名の方にむしろ関心を持ち、先生のご著書完成を楽しみにしたことがとてもなつかしい。

あれから40年、「毎日新聞・朝刊」の東京版には現在、毎月最終の金曜日に「書のこころ」と題した紙面がある。私は、昨年(令和7)三月に「書のこころ」執筆。その後、「同年七月から明くる令和八年の三月まで、十二月を除く毎月、全八回にわたり、『書写』の内容で執筆して頂きたい」との依頼がありお引き受けした。前任者

が学芸部記者で書道に大変詳しい桐山さんの後任なので緊張した。幾つもの題名案を考えながらしつくりとせず困っていたところ、「教えて！広瀬先生」という題が発案され、有名なジャーナリスト池上彰さんが登場するような題でとてもうれしく思った。この欄用には顔写真ではなく、私の似顔絵をとることで、新聞社のカット専門の方が描いてくださりとても気に入っている。東京版は都内では掲載・販売されないことが残念だが、全国の各市町村の中央図書館等に配架されている「毎日新聞・縮刷版」(一か月分全頁を一冊にまとめたもの)には、代表して東京版が印刷されているので都内以外でも図書館等で見ることが出来る。「毎日新聞インターネット」なら、題名で検索すると世界中で見ることが出来るのでとても便利な世の中になった。

(つづく)

教えて！

広瀬先生



6

◀毎日新聞掲載のタイトル(第6回目)

# 今 月 の ホ ー プ



小六 荻谷穂乃果 (琴月書道塾)

楷書の基本用筆をしっかりとつかみ、特に転折の筆使いが見事です。引き締まった筆の運びも爽やかで、全体がよくまとまりました。



小四 齋藤純奈 (成東)

漢字・ひらがなの4文字を紙面いっぱい配置しました。字形も整い、最後まで筆力に充実の豪快さあふれる力作です。

支那名	月華社 <small>段・級</small>	に大きな影響を与えた。	いう白樂天の語句は、日本の詩歌	「雪月花の時、最も君を憶ふ」と
	特待 <small>学年</small>			
	中三 <small>氏名</small>			
	池田あかり			

中三 池田あかり (月華)

文字の大小がバランス良く配置され、ペン字の特長が生々と表現された品格の高い優雅な作品に仕上がりました。

支那名	木のほ <small>だん・級</small>	つを した。	元 気 に あ い さ
	がくねん		
	一 <small>なまえ</small>		
	おりか かなめ		

小一 折笠叶芽 (木の華会)

素直でやさしい書きぶりです。じっくりと取り組んで名前までいていねいであたたかい作品です。

# 書道芸術学生版 春季昇段級試験規定

・毛筆  
・硬筆

一、しめきり日 5月6日(水)

一、発表 表 5月下旬

## 毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生 いろ(かいしよ)

〃 二年生 はる(かいしよ)

〃 三年生 中立(かいしよ)

〃 四年生 名言(かいしよ)

〃 五年生 足音(かいしよ)

〃 六年生 出発(かいしよ)

中学校一年生 成長(楷書か行書)

〃 二年生 筆法(楷書か行書)

〃 三年生 進路(楷書か行書)

一、受験料 各部一点 六〇〇円

毛筆  
硬筆 } 共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

一、書 体

○小学生は楷書(かいしよ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人

が毛筆で書く。(幼・小一の方は、学

年を書かなくてもよい)

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

(毛筆・硬筆共)

のりしろ	
神田 書道 太郎	
	1級
① 1013021200013	
昇試 (5月6日締切)	
① 毛筆	
神田 小1	
書道 太郎	
1級	
	
1013021200013	

○応募書類は4月下旬に6月号といっ

しよに、受験番号を記入した応募書

類と「昇段級試験用」バーコード出

品券を送付します。

○毛筆・硬筆とも左図のように記入して出品する。

作品中央下に赤字で団体番号を記入する。

一年	い	ろ	〇〇〇〇
しよどう			
たろう			
			↑
			例 1001
			団体番号

※5月号の購読部数を越える受験はできません。

小学 3 年



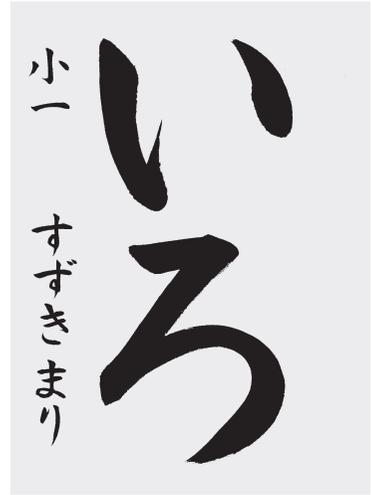
広瀬舟雲先生

小学 2 年



川島舟錦先生

幼・小学 1 年



大平邑峰先生

小学 6 年



広瀬舟雲先生

小学 5 年



川島舟錦先生

小学 4 年



大平邑峰先生

中学 3 年

中学 2 年

中学 1 年

楷  
書



小竹石雲先生



種谷萬城先生



名越蒼竹先生



小竹石雲先生



種谷萬城先生



名越蒼竹先生

行  
書

硬筆の部

一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。

一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。

一、「空欄」。「」も正しく書く。

一、課題

幼・小学 1 年

支部名		えんそく	えがおで
段・級			
学年	一		
名前	小山りょう		

小学 2 年

支部名		きま	一
段・級		した。	年
学年	二		生
名前	大谷新一		が
			入
			学
			し
			て

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。  
 一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。

支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。  
 一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

※5月号の購読部数を越える受験はできません。

小学 3 年

支部名		朝食を	今日は
段・級		とり	ゆっ
学年	三	ました。	くり
名前	川島小春		

小学 4 年

支部名		ま	は	こ
段・級		っ	昔	と
学年	四	て	の	わ
名前	日浅希音	い	人	ざ
		ま	の	や
		す。	ち	か
			え	く
			が	言
			つ	に

支部名	とかくに人の世は住みにくい。		
段・級	は流される。意地を通せば窮屈だ。		
学年	智に働けば角が立つ。情にさおさせ		
名前	中一 南日向子		

支部名	めが並んでいました。		
段・級	と目玉焼きと野菜いた		
学年	六		
名前	木村大賀		

支部名	あ		
段・級	の遠い空にひとす		
学年	五		
名前	黒岩海音		

ご注文は、専用の払込取扱票にて前納でお申込みください。払込取扱票をお持ちでない方は事務所へご連絡ください。

春季昇段級試験で硬筆の部を受験される方は、本院指定の用紙(月例と同じ用紙)を使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさに合わせて切って出品してください。

支部名	智に働けば角が立つ。情にさおさせ		
段・級	は流される。意地を通せば窮屈だ。		
学年	とかくに人の世は住みにくい。		
名前	中一 南日向子		

春季昇段級試験

硬筆の部

を受験される方へ

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用      ③ 4・5・6年生用
- ② 2・3年生用      ④ 中学生用

料金表 (送料含む)

硬筆用紙 9冊以下 (1冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	280円	4	610円	7	1,130円
2	410	5	710	8	1,230
3	510	6	810	9	1,330
硬筆用紙 10冊以上のご注文は、1.5割引					
10~21		冊数×85円+430円			
硬筆用紙22冊以上のご注文は、1.5割引、送料無料					

※10冊から21冊までは、1.5割引き+送料に変更させていただきます。

※22冊以上は、1.5割引き 送料無料になります。

令和

年

月

日

## ◇ 登録用紙 ◇

団体番号		支部名		先生名	
------	--	-----	--	-----	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月 **15** 日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に手続きをお願いいたします。

※3月に登録される時は、備考欄に新学年を記入してください。

※現在の学年を明記してください。



氏名	ふりがな	学年			備考
		幼	小	中	

## ◇ 部数変更届 ◇

現在		増減	合計
冊	月号から		冊
事務局使用欄			

※部数減の変更は、毎月15日までに

部数増の変更は、いつでも事務局へご連絡下さい。

**FAX番号 (03) 3862-1957**

※この用紙をコピーして繰り返しお使い下さい。

幼・1年

た  
やまだゆい

かわ  
小一 さとうゆり

2年

いみら  
小二 かせけんた

メモ  
小二 山口リナ

3年

小川  
小三 山口ひろと

こ子ね  
小三 市村るい

4年

学校  
小四 土田春子

マロ字  
小四 林まこと

5年

風景  
小五 小川 政子

早起  
小五 牧野みや

6年

労働  
小六 高木 理

ち風  
小六 作田一馬

中学

新風  
中一 佐川美子

品行方正  
中二 牛田太

三保の松原  
中三 工藤 和子

い  
中一 河田 月

編集余録

○春季昇段級試験の締め切りは、5月6日です。一生懸命練習をして良い作品を仕上げてください。毎月の競書から、毛筆、硬筆ともに名前まで気持ちを切らずに丁寧に書いてください。また、硬筆の作品は、消しゴムを使わないように努力してください。皆さんの力作を期待しております。

○毎年5月5日はこどもの日で、「端午の節句」とも言われます。子どもたちの成長を祝って、柏餅を食べたり、五月人形やこいのぼりを飾ったりします。

こいのぼりの由来の一つに、中国の「登竜門」という伝説があります。黄河にある「竜門」という激しい滝を多くの魚が登ろうとしますが、登りきれるのは強い鯉だけです。そして滝を登りきった鯉は竜になると言われています。そこから、鯉は努力して成功する強い魚の象徴になりました。日本でもこの考えが伝わり、子どもが強く立派に成長してほしいという願いをこめて、こどもの日にこいのぼりを飾るようになったと言われています。

(悠輝)